



箱根ラリック美術館  
LALIQUE MUSEUM, HAKONE

NEWS RELEASE

春の企画展のご案内

～パリ世紀末 ベル・エポックに咲いた華～

# サラ・ベルナルの世界展

2019年3月28日(木)～6月30日(日)

ミューズ

## ミュシャ、ラリック、ロートレックの女神

このたび箱根ラリック美術館では、来る3月28日より「サラ・ベルナル世界展」を開催します。

19世紀末から20世紀にかけて活躍したフランスの大女優サラ・ベルナル(1840/44～1923)。演劇界のみならず文学や美術など芸術界全般に大きな影響を与えたサラは、まだ無名だったアルフォンス・ミュシャや若手ジュエリーデザイナーだったルネ・ラリックの才能を見出した女性でもあります。文豪ヴィクトル・ユゴーが「黄金の声」と称賛した美声や、男役も演じる高い演技力で、母国フランスでは伝説の女優として語り継がれているサラは、自ら執筆や彫刻の制作を行うアーティストとしても活躍するなど、多彩な才能を開花させていました。演劇・芸術・ファッションで人々を魅了し、いち早く広告の重要性に目をつけたことで、写真やポスターで自らイメージ戦略を計り、ベル・エポックと呼ばれる華やかな時代を彩ったスターとして君臨しました。

本展は、サラ・ベルナルを大々的に紹介する初の巡回展です。日本とフランスから集めた作品や資料を中心に、華やかなベル・エポックからアール・デコ時代に活躍した芸術家たちの作品を交えて、時代の女神(ミューズ)として一世を風靡した大女優の足跡を辿ります。

本展の開催のニュースをご紹介しますよう、謹んでお願い申し上げます。



デザイン:アルフォンス・ミュシャ/制作:ルネ・ラリック 舞台用冠《ユリ》1895年頃



ジャック・ドゥーセ《イブニングドレス》19世紀末 個人蔵



アルフォンス・ミュシャ《ジスモンダ アメリカツアー版》1895年リポリアンティークス蔵

企画展限定メニューが登場!

「サラ・ベルナルに想いをよせて ガレット・ド・ブルターニュ」

サラの緑の地であるブルターニュの郷土料理をベースに野菜好きだったサラをイメージした一皿



企画展イベント!

「あなたも女優になろう♪」

アプリをダウンロードして、ユリの冠を身につけたサラ・ベルナルのような記念写真を撮影できます!



【主催】箱根ラリック美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会【後援】在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本

【協賛】ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜【特別協力】《フランス》エタンプ市美術館、ピエール＝アンドレ・エレーヌ氏、ダニエル・ラドゥイユ氏《日本》堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市立文化館)、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、リポリアンティークス

【企画協力】株式会社 燦京堂【運営協力】「サラ・ベルナルの世界展」実行委員会

開館時間:9:00～17:00(※年中無休/美術館入館は16:30まで)

入館料:大人1500円/大・高生・シニア(65歳以上)1300円/中学生・小学生800円

所在地:神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1 TEL:0460-84-2255

箱根ラリック美術館公式サイト [www.lalique-museum.com/](http://www.lalique-museum.com/)

【お問い合わせ】箱根ラリック美術館(広報担当:杉山、古川) TEL:0460-84-2255

3月28日(木)～6月30日(日)まで箱根ラリック美術館にて開催